

令和 5 年 2 月 24 日

教 育 長 様

研究コース
A グループ研究 A
校 園 コー ド (代 表 者 校 園 の 市 費 コー ド)
751741
選 定 番 号
137

代 表 者	校 園 名 :	大 阪 市 立 加 美 東 小 学 校
	校 園 長 名 :	奥 雅 裕
	電 話 :	06-6793-0725
	事 務 職 員 名 :	森 田 昭 彦
申 請 者	校 園 名 :	大 阪 市 立 加 美 東 小 学 校
	職 名 ・ 名 前 :	教 諭 ・ 久 保 田 眞 一
	電 話 :	06-6793-0725

令和 4 年度 「がんばる先生支援」研究支援 報告書

◇令和 4 年度「がんばる先生支援」研究支援について、次のとおり報告します。

1	研究コース	コース名	A グループ研究 A	研究年数	新規研究 (1 年目)
2	研究テーマ	知的な好奇心を高める授業の探求 ～自分の考えを表現できる子を目指して～			
3	研究目的	○授業の導入や展開、取り組みを工夫し、児童の「知的な好奇心」を高め、学習意欲につなげる。 ○主体的・対話的で深い学びへとつながる環境や授業改善の推進 ○児童が書いたり、ICTを用いて発表したり、身体表現をしたりするなどの表現方法の工夫に焦点をあて、児童の「表現力」の向上を目指す。			
4	取り組んだ研究内容	<p>いつ、何のために、どのようなことを実施したのかを具体的に記載してください。 (MS³・シック 9.5ポイント)</p> <p>6/9 6/16 7/5 働くことの意義や職業観について学ぶ6年生を対象に、実際に働いている人たちと触れ合える機会を作るため、dip株式会社による「バイトルkidsプログラム」を取り入れ、働いている人々へのZOOMを用いたインタビューや学んだことをPowerpointにまとめて発表する活動を行う。児童自身が学んだことや考えたことを発表して表現する力を養う。</p> <p>6/17 5年生を対象に、文章から読み取った内容について、自分の意見や考えを持ち、それを他者に伝えることができるようになるために、新聞社からさまざまな新聞を取り寄せて比較検討しながら内容をまとめ、発表する活動を行った。必要な情報を集め、自分の意見を表現する力を養う。</p> <p>6/23 4年生を対象に、日本ダンスストリート協会による、地域ダンスの創作を通じて地域を深く学ぶ「踊育(だんいく)キャリア教育プログラム」に取り組んだ。地域のダンスである「龍踊り」について学び、運動会の団体演技のダンスに、学習した「龍踊り」をパートごとに取り入れるなど児童の身体表現を活発に行えるようにした。</p> <p>11/25 児童自身の生活がさまざまな場所と関わっていることや、地域の人々が地域によせる思いを知るために2年生を対象として、まち探検を行い学んだことを1年生に伝える活動に取り組んだ。壁新聞などのポスターを活用し、情報をまとめる力や考えを表現する方法を学ばせる。</p> <p>1/11 書道パフォーマンスの実演・書道教室 講師上宮高等学校 書道パフォーマンス部 書道甲子園で注目を集める上宮高校書道パフォーマンス部を講師に招き、書写で思いを表現することへの興味・関心の向上を図った。パフォーマンスは3.4.6年生を対象に行い、授業は習字が始まる3年生を対象に行った。</p> <p>2/7 1年生を対象に、保育園の園児に自分たちの学校を紹介する動画を作る活動を行った。児童自身で学校の紹介内容を考え、動画作成アプリを活用しながら保育園児に向けた動画を作成した。ICT機器の活用に慣れるだけでなく、表現力の向上にもつながった。</p>			

5	研究発表等の日程・場所・参加者数	研究発表等を実施した日・場所・参加者数を記載してください。				
		日程	令和 4 年 11 月 25 日		参加者数	約 32 名
		場所	大阪市立加美東小学校			
		備考	講師 大阪市教育センタースクールアドバイザー 高井 正道 先生			
6	成果・課題	大阪市教育振興基本計画に示されている、 <u>子どもの心豊かに力強く生き抜き未来を切り開く力の向上</u> および <u>教員の資質や指導力の向上</u> について、申請書に記載した検証方法から得られた結果と、それらからの結果に基づいた考察を、具体的に記載してください。				
		【見込まれる成果1】 ○ICT機器の活用、体験的な学習、さらに本物にふれる機会を多く増やすことで、「多様な表現力」や「表現方法」を身に着け、児童の表現力の向上を目指す。 《検証方法》 ・学校アンケート項目「自分の考えを表現できていますか」で肯定的な回答割合を81%以上にする。 〔検証結果と考察〕 「自分の考えを表現する」活動として、新聞を通して自他の意見に興味を持たせたり、運動会のダンスを児童自身で考えたり、理科の実験器具を充実させることで実験の予想や考察をしやすくするなど、各学年が授業の工夫を行ったことにより、学校アンケートの「自分の考えを表現できていますか」の項目では、全学年で肯定的な回答が82%となり、目標を達成した。				
		【見込まれる成果2】 ○話し合い活動や読書活動による思考力や表現力の向上。 《検証方法》 ・小学校学力経年調査における国語科「思考・判断・表現」の観点の正答率の割合を前年度より増加させる。 〔検証結果と考察〕 小学校学力経年調査における国語科「思考・判断・表現」の観点の正答率の割合はいずれの学年も65%以上となっており、全学年の正答率を前年度よりも増加させることはできなかったが、いずれの学年も市平均と同値かそれ以上の正答率を得ることができた。 学校全体では図書室での様々な読書イベントの取り組みを中心として、児童の読書に関する興味・関心を高めることで、学校アンケート「本を見たり読んだりすることが好きですか」の項目で83%の肯定回答を得る結果となった。また、研究テーマに沿って表現活動のある授業の増加により、学校全体での児童の思考力・表現力の向上が見られている。				
		【見込まれる成果3】 ○他者を理解し相手の意見を聴いたりコミュニケーションをとることができる。 《検証方法》 ・学校アンケート項目「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」で肯定的な回答割合を93%以上にする。 〔検証結果と考察〕 学校アンケートの「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目では、98%の肯定回答を得ることができた。これは研究テーマでもある知的好奇心の探求という部分を学校全体で授業の中心に置いたことにより、児童の学習への意欲が高まり、自他の意見を尊重しあうことで、児童一人一人の自己肯定感を高めることができたことに影響していると考えられる。自己肯定感の高まりによって、人の役に立ちたいという児童の考えにつながる結果となった。				

6	成果・課題	<p>【見込まれる成果4】 ○授業力の向上や児童の学習意欲を高める。</p> <p>《検証方法》 ・学校アンケート項目「学習に進んで取り組んでいますか」で肯定的な回答割合を85%以上にする。</p> <p>〔検証結果と考察〕 学校アンケートの「学習に進んで取り組んでいますか」の項目では、84%の肯定回答を得ることができた。目標には1ポイント届かなかったが、80%以上の肯定回答を得ることができたことにより、児童の学習意欲の高まりが感じられるものとなった。これは研究テーマでもある知的好奇心の高まる授業の探求という部分を学校全体で授業の中心に置いたことにより、児童の学習への意欲が高まったと考えられる。より多くの児童が学習に進んで取り組みたいと思えるように、知的好奇心の高まる授業の探求を今後も意識していく必要がある。</p> <p>【見込まれる成果5】</p> <p>《検証方法》</p> <p>〔検証結果と考察〕</p> <p>【研究全体を通じた成果と課題】 具体的に記載してください。 研究テーマとして「自分の考えを表現する」活動を学校全体で意識してきた。活動として、年度の前半では、新聞を通して自他の意見に興味を持たせたり、運動会のダンスを児童自身で考えたり、国語科の物語文の展開を予想・考察したりする活動などを取り入れた。年度の後半では、それまでの取り組みに加え、異学年への地域紹介や入学前の幼稚園児にむけた学校紹介など、児童が自らの考えを表現する場を多く設けてきた。その結果、小学校学力経年調査における国語科「思考・判断・表現」の観点の正答率の割合は、いずれの学年も65%以上となっており、全学年の正答率を前年度よりも増加させることはできなかったが、いずれの学年も市平均と同値かそれ以上の正答率を得ることができた。また、学校アンケートの「自分の考えを表現できていますか」の項目では、全学年で肯定的な回答が82%となり、目標を達成した。これらのことから、研究テーマである「知的好奇心を高める授業の探求～自分の考えを表現できる子を目指して～」は一定の成果を出すことができたと考えられることができる。</p> <p>《代表校園長の総評》 ここ数年、本校の研究テーマを「知的好奇心を高める授業の探求」と定め、日々の授業改善に取り組んできた。今年度は「表現力を高める」ことを主眼に各教科・領域で研究を進めてきた。がんばる先生支援事業の公開授業においては11月に2年生の生活科で地域紹介としてまち探検を行い「加美東のステキ」をテーマに子供たちの表現力を高める研究授業を実施した。公開授業以外にも6年生のキャリア教育、4年生の地域交流、3年生の書道パフォーマンス等で効果的な予算執行が行えたことは本校の研究テーマにも沿った有意義な活動であった。結果、学校アンケートにおいて「自分の考えを表現できる」等の肯定的回答も上昇し実りある教育実践が執り行えたものとする。次年度以降もこの事業に参画する所存である。</p>
---	-------	--